



吾野地区



森林浴で巡る季節を楽しもう

吾野地区は、飯能市内の北西に位置し、豊かな森林と清流「高麗川」を源流とした恵まれた自然環境の中に歴史と文化が息づくまちである。

地区内には、高山不動尊や東郷公園、伊豆ヶ岳、正丸峠などがあり、吾野道は、子ノ権現、顔振峠への登山口となり、1年を通してハイキングや川遊び等の多くの観光客が訪れる地区である。

人口減少に負けない、豊かで元気な地域の創造を目指し、まちづくりに取り組んでいる。

活動実績

本地区まちづくり推進委員会は、平成 11 年 11 月に発足し、これまでアクションプランに基づき、恵まれた自然環境を保全し、魅力的な地域づくり事業を展開してきた。

- (1) ふれあいベンチ設置事業
- (2) じゃがいも・のらぼう街道づくり事業
- (3) 旧南川・北川小学校跡地の有効使用に関する提言と要望を市に提案
- (4) 高麗川源流保全施設事業・年 3 回、草刈り及び清流清掃作業を実施
(1 回は中学生と共同体験作業)
- (5) 花いっぱい吾野道事業
 - ・ 吾野の街道沿い...クルメツツジ(6,000 本)
 - ・ 正丸峠...ミツバツツジ(60 本)、ドウダンツツジ(70 本)、
リュウキュウツツジ(80 本)、クルメツツジ(100 本)
 - ・ 高山展望台...ドウダンツツジ、カルミア(100 本)
 - ・ 刈場坂ツツジ山...ミツバツツジ、ヤマツツジ、ドウダンツツジ、
ヤマモミジ(150 本)
- (6) 昭和天皇陛下行幸記念碑、明仁親王殿下・美智子妃殿下行啓記念碑建立
- (7) 高麗川源流保全之碑建立
- (8) 奥武蔵ハイキングコース周辺景観整備事業
 - ・ 伊豆ヶ岳、大高山、ツツジ山、高山展望台景観保持のための間伐と草刈
 - ・ 石材による、道標・案内碑の設置(高山展望台、伊豆ヶ岳、大高山)
- (9) 吾野名物の開発事業

現状と課題

当地区は、豊かな自然環境、また、歴史・文化・観光などの地域としての資源も多く持ち合わせている。しかし、その資源の活用という点に於いては、私たちの力では、手を付けられなかった所が山積しており、力強い行政の指導施策が必要である。商店の数が減り、若者が市街地に出て行き、高齢化は予想以上に進んでいる。元気な吾野を取り戻すために、そして誰もが安心して健康的に生活できる地域づくりを目指し、「できることを一つずつ」実践していきたい。

将来像

森林と清流 共に人を拓く ふれあいのまち - 吾野 -

サブテーマ

みんなでつくろう 心が和む景観と環境づくり
みんなで考えよう ものづくり
みんなで守ろう 緑と清流

吾野地区協働計画「アクションプラン」



将来像

森林と清流 共に人を拓く
ふれあいのまち 吾野

サブテーマ

みんなでつくろう
心が和む景観と環境づくり

みんなで考えよう
ものづくり

みんなで守ろう
緑と清流

アクションプラン

蘇れ奥武蔵ハイキングコース周辺景観整備

歴史を楽しむ吾野道づくり

おらがふるさと吾野名物の開発

高麗川源流保全と自然観察路の整備

高麗川支流の整備



福寿草 2月



シュンラン 3月



アズマイチゲ 3月



カタクリ 4月



ニリンソウ 4月



ヒトリシズカ 4月



イワウチワ 4月



ミツバツツジ 4月



山桜 4月



ヤマブキ 4月



ヤマツツジ 4月



ドウダンツツジ 5月



ジュウニヒトエ 5月



シャガ 5月



ウツギ 6月



ホタルブクロ 6月



イワタバコ 8月



ホトトギス 8月



カラスウリ 8月



シュウカイドウ 9月

素朴で美しい野辺の花

アクションプラン 「蘇れ奥武蔵ハイキングコース周辺景観整備」

〔目的〕

吾野地区は、豊かな自然環境に恵まれ、訪れる観光客も多い。
ハイキングコースを整備することにより、より多くの人に吾野の良さを知ってもら
うと共に、地元の人達の散策コースとして健康づくりに役立てたい。

〔取り組み方〕

- ・対象とするハイキングコースの選定と場所の確保
- ・整備する範囲は、概ねハイキングコースの両脇 30m 程度とし、間伐、枝打ち及び
伐採と展望台の設置
- ・土地所有者の把握と承諾の交渉
- ・整備後の案内板の設置

アクションプラン 「歴史を楽しむ吾野道づくり」

〔目的〕

歴史ある吾野道、西川材使用の歴史的建造物や地域（吾野宿等）の保全、国道や名
所旧跡につながる道沿いに花を植えることにより、心の和む地域づくりを醸成し、併
せて交流人口の増加と新たな観光事業を推進する。

〔取り組み方〕

- ・国道 299 号及び名所旧跡につながる道路への植栽・歴史的建造物、地域の調査保全
- ・植栽する花木の選定、業者への発注
- ・地区ごとに担当者を決めて植栽
- ・植栽後の草刈り等の維持管理



気軽な森歩き

アクションプラン 「おらがふるさと吾野名物の開発」

〔目的〕

吾野の食・工芸文化を再認識しながら、潜在的な資源を掘り起こし、地元の食材と木材を利用した品物を開発し、地元のイベントや観光客に提供し収益源とする。

〔取り組み方〕

- ・地元でできる食材・木材の調査・研究
- ・会員が研究開発した完成品の報告、展示会等の実施
- ・製造方法等の検討と整備
- ・販売体制の確立と情報の発信



アクションプラン 「高麗川源流保全と自然観察路の整備」

〔目的〕

高麗川の源流を探索し「保全の碑」を建立した。毎年3回この碑の周囲1kmに渡り草刈りを実施している。清流の保全を次代の人達にも引き継ぎたいとの願いもあり、そのうちの1回は中学生との共同作業としている。今後は、自然観察路の整備をする。

〔取り組み方〕

- ・自然観察路の整備・植樹・草刈り
- ・中学生の自然体験学習の場の提供



川遊び

アクションプラン 「高麗川支流の整備」

〔目的〕

吾野地区を流れる高麗川は最近一時よりも水質が良くなっている。これは地域住民の「緑と清流」に対する意識が高まったためだと思われる。しかし、その支流の沢には、雪折れの木が重なり、沢沿いの道も荒れているところが多く見られる。水質を保全すると共に、森の中で心地よい自然観察の体験ができる、また、ハイカーからも満足できる高麗川としてレベルアップを図っていきたい。

〔取り組み方〕

- ・整備する場所の選定
- ・土地所有者の把握と整備承諾の交渉
- ・作業計画の策定

～ 吾野地区再生重点事業 ～

吾野地区における持続可能な地区再生を具体化するため、以下の3つをキーププロジェクトとする。

重点事業1 廃校となっている旧北川小学校、旧南川小学校の再生利用

重点事業2 吾野宿さんぽ街道

重点事業3 空き古民家の活用による都市住民との交流

廃校となっている旧北川小学校、旧南川小学校の再生利用

旧北川小学校

明治7年創立。校舎は大正10年建設

国道299号から入った場所

【再生イメージ】

- ・ 地区外との交流拠点
- ・ ギャラリー、コンサート
- ・ 林業技術研修
- ・ 地場産品販売
- ・ エコツアーの拠点



旧南川小学校

明治7年創立。平屋校舎は明治37年建設

2階建て校舎は昭和13年建設

国道299号の近傍に立地

エコツアーを実施、撮影の舞台などに

【再生イメージ】

- ・ 生活文化体験
- ・ むかしのくらし・あそび体験
- ・ 給食・郷土食レストラン
- ・ 自然食販売（パンなど）
- ・ 地場産品販売・実演
- ・ エコツアー、自然体験の拠点
- ・ 小学校の遠足利用など



自然と歴史、生活文化を活かした 持続可能な地域づくり(吾野地区モデル)



空き古民家の活用による都市住民との交流

- ・空いている古民家などを改修し、週末別荘、週末工房として貸し出し
- ・農地の貸し出し
- ・草刈り等への都市住民の協力
- ・作品等は旧南川小学校、旧北川小学校、吾野宿さんぽ街道などで展示・販売
- ・移住への支援
- ・エコツアーの拠点



吾野宿さんぽ街道

平地と秩父を結ぶ街道の宿場町

古民家が残る

東吾野駅、西吾野駅に近接、ハイキングコースに位置

【再生イメージ】

- ・散策環境の整備（樹木の植栽・休憩施設の整備・間伐材による修景・車両の進入制限等）
- ・食の提供、地場産品販売
- ・スペースの提供（作品等の販売等）
- ・駐車スペースの確保・トイレの整備
- ・誘導看板の設置
- ・エコツアーの拠点



高麗川

関八州見晴台

西吾野駅

吾野地区行政センター

文

休暇村奥武蔵

東郷公園

文

吾野駅

大高山

アクションプラン
高麗川源流保全と自然
観察路の整備

昭和天皇陛下行幸
明仁親王殿下・美智子妃殿下行啓
記念碑

アクションプラン
蘇れ奥武蔵ハイキング
コース周辺景観整備

アクションプラン
歴史を楽しむ吾野道づ
くり

アクションプラン
おらがふるさと吾野名
物の開発



吾野地区アクションプランマップ



奥武蔵グリーンライン



関東に誇る杉樹林

関八州見晴台



高山不動尊の
大イチョウ
(県指定天然記念物)

西吾野駅

吾野地区行政センター
文 休暇村奥武蔵

東郷公園



我野神社の檜

吾野駅

文 文

大高山

アクションプラン
高麗川支流の整備

高麗川

高麗川源流保全碑文

茅原 健 撰文

高麗川の源流となるせせらぎは
ツツジ山をあおぐ溪谷にそそぐ
清流は吾野の林間を蛇行し
荒川に至る流水の歴史を刻みつつ
小さないのちを育み
人びとの春秋の営みを支えてきた
森と水の優美な自然を守るために
源流の環境保全を次世代に継承し
遠く高句麗にゆかりする高麗川を
清冽な流れとしなければならぬ

私たちは、郷土吾野の巨木・樹林の調査を行い、
銘木 120 本を選定いたしました。一部写真を提示
いたします。森林文化都市として、さまざまな観
点から森林の役割を十分に感じ取っていただき、
何世代にも渡り育てた樹木は、私たちの手で大切
に保護し、未来への財産として継承したいもので
す。